日刊
常磐新聞
發行所 常磐新聞社 福島縣平町南町五九
發行人 伊藤隆次 福島縣小名濱町古港一
十一月二十六日夕刊
一ヶ月 三十錢
一部 二錢
廣告料 一行五十錢
場所指定 十錢増
日曜祭日翌日休刊

優良納税組合表彰 功勞者に銀杯授與

納税講演會を兼ね 小學校講堂て開催

二十四日納税デー第二日目小名濱役場では小學校講堂により午前十一時から優良納税組合表彰を兼ね納税講演會を開催した、先づ高木助役開會を宣して納税組合表彰及び表彰狀傳達式があり町長小野晋平氏の手より新町組々合長志賀長治氏外四十五組々合長四十五名に昭和九年度中の國縣町税の完納の美績を擧げたるは他の模範たりよつて本町規程に基き奬勵金一封を添へて表彰された、其の勤續優良組合長表彰は小名濱下町上組納税組合と同組合長鈴木駒次郎氏、日之出組合長藤社重吉氏、組合には協同相率えて納税の觀念篤く優秀な納税成績を繼續せしは他の模範たり依つて福島縣納税表彰規程に依り金一封を添へ表彰狀をそれ〴〵贈られたが上組合長鈴木駒次郎氏は多年納税組合の職にあり施設經營よろしく優秀なる成績を收めたる功績顯著なりと福島縣納税規程に依り銀杯一個を添いて表彰狀を授與された、傳達式終りて町長挨拶あり平税務署長平税務出張所長の納税に關しての講演あり、來賓祝辭あつて閉會せしも會後決議として『町村自治の運用を圓滑ならしむるは租税の完納にあり依つて我等は納税義務の實行を期し滯納者を皆無ならしむる事』右決議をしたし其れに懇談事項として現在賦課戸數千八百六十五戸に對し既設組合戸數千百九十四戸、加入せざる戸數六百七十一戸これの加入方法等を開陳懇談して午後一時半折詰手土産頂戴して盛會裡に開散した。

觀世流素謠會 盛會に終了す

小名濱觀世會にては既報の如く去る廿三日午後六時より本町水野技藝女學校に於て左記次第により素謠會を催し盛會を極めた。

賀茂　ツレ　初川　茂藏
　　シテ　金成　嘉忠
　　ワキ　櫻井　詢
八島　シテ　齋藤祐之介
　　ワキ　志賀　要平
　　ツレ　馬目　安一
敦盛　シテ　初川　茂藏
　　ワキ　鈴木　忠亮
芦刈　ツレ　志賀　要平
　　シテ　上野代收造
　　ワキ　武　菊治
（欠席のため馬目安一代吟）
熊坂　シテ　櫻井　詢
　　ワキ　岡山　重喜
（時間の都合により中止）
鵜飼　シテ　馬目　安一
　　ツキ　武　菊治
　　ツキツレ　上野代收造
紅葉狩　シテ　志賀　コト
　　ツレ　永山シユン
　　ワキ　鈴木　忠亮
　　ワキツレ　金成　嘉忠

尚ほ番外として來賓堀内一夫氏の紅葉狩、會員齋藤祐之介氏の羽衣等の獨吟あり最後に師匠松井清水氏の千秋樂に目出度終了、同席に批評懇談の清宴を開き和氣滿ち〳〵て深更に及び盛會裡に散會せり。

女教員の卵！ 女子師範生卅九名

小名濱港參觀 裁縫科其の他を

福島縣女子師範學校參觀一行の昭和十年度第二期教生（本科第二部第二學年甲組三十九名）は明廿七日午後四時半小名濱着、廿八日午前八時より小名濱小學校を左記順序により參觀する

一、自由參觀自習（午前八時十分）朝會（第一校時九時）

二、共同參觀　第二校時裁縫科黑澤訓導、第三校時理科大谷訓導、中食裁縫室に於て校長講話、第四校時家事科高槻訓導

三、合同音樂會　第五校時等を參觀視察後小名濱發三時半浪江に向へ双葉郡大堀小學校を參觀すべく出發する筈である。

給仕の失踪 主より捜索願

本籍平町字柳町十一住所多賀郡助川町字泉一八四五金子熊五郎方給仕婦渡邊フミ（一七）は十一月十九日午後六時頃家人の隙を窺へ家出したる事發見同人は給仕人として前借三十五圓も支拂はず逃走に際して來客の時計迄窃取したる事も判明平地方に潜伏せる形跡充分なるに付捜索方願出署員調査中

撲殺事件は 賭博常習犯

昨報内郷村宮桑原留次郎及吉川幸太郎の喧嘩撲殺事件に關しては平署齋藤司法主任平支部關口判事氏家檢事現場に急行調査の結果被害者桑原留次郎は去る廿四日午前二時死亡直ちに藤沼醫師解剖吉川幸太郎は左脇腹を刺され同村高萩醫師の手當中約一週間程の傷害兩人は鐵屑拾ひ等をなして生活の本業となしゐるも事實は賭博犯の常習關係にて賭博仲間の小林某に留次郎は一圓の催足を依頼され一時同人は歸宅し刺身庖丁を持參し燒酒を呑みつゝ借金の催足對に口論の結果粗暴極まる兩人は血祭を演じたる次第にて加害者吉川は刺されたので樫棒で正當防衛をするためなりと語つてゐると兩人共前科六犯の賭博常習者並に強惡常人ならざるため傷害致死罰はまぬかれまへと尚ほ詳細調査中。

卓球試合成績

側候所クラブ主催
參加人員四十名
準決勝
小野（水講）鈴木（水講）勝
安島（側）勝四家（水講）
決勝
鈴木（水講）勝安島（側）
團体競技（六組）
水講、水試、内務省、役場
信用組合、測候所
結果役場優勝
其の他七人拔き紅白試合日沒の爲め中止參觀者約百名にして盛會を極む。

士名方地 短所と長所 管見（一）

倉兼常八氏 (77)

倉兼氏は鐵工場として築港の關門唯一の場所に土地を卜し未だ木の香も高き新築住宅と工場を有する小名濱立志傳中の人である。

倉兼氏の長所は純情の持主である事である、故に一回より二回と接觸すればする程何とも言ひぬ味が出て來る、恰度嬶の古物になる程説明の出來ない良い味の出る如く――爲めに氏の信望は日に月に昂り鐵工場主と併行して社界的地位も段階的に占有しつゝある。

扨て短所は多辯と併せ能辯なる爲めに相手に本質迄接觸せしめず倉兼の實質は如何なるものかの宿題を全部に十點を與へる事に努力すれば丸八鐵工場の隆昌と社界的地歩の獲得も易々たるものであらう。

街の噂

二三町議の憤慨　廿四日第二師團長閣下が來小した閣下を出迎ふべく役場より町議に通知を出したのは、閣下の來着時刻は午後三時半町議各位に通告が到達したのは午後二時より三時の間して見ると其間僅かに一時間前である、役場吏員は手間取根性を出して形式的に通知をすればよいのだ位に思つてした行爲なれば町會議員にも考へがある、そんな不實な吏員を役場に置く事は出來ない、といつこいつの容赦はない町議たる權能の上よりしてもと出迎に出た議員の激怒である。

小名濱で内務省前に出迎へた人員は僅か十四五名、在郷分會より四五名、町議六七名、其他と云ふ淋しさであつた、軍隊に於ける絶對權威者で親任官の禮遇を受けてゐる師團長閣下、それに直接關係のある二十九聯隊長の小名濱來訪などは確に珍客である、それが役場員の横着と無智のためにお氣の毒に思ふ程淋しき出迎であつた。飜て平町はどうであつたか、平町はさて置きお隣の江名町は數百人の出迎の中に婦人までも出迎てゐたと云ふ事である。派手にせよとは云はぬ、澤山のお馳走も強いない、然し地方民として純朴なる赤誠を披瀝してその勞に應いるのが人の道であると町議多數の怒りに役場吏員としてはちッとは考へなければなるまいテ。

カフエー末廣 お座敷増築中

忘年會新年宴會は 末廣でと云ふ仕構

カフエー末廣では店舗の奥に層二階建六疊四間の清楚たるお座敷の増築中で來月十日頃には落成の豫定である、迫る年の暮の忘年會場新年宴會にくつろいで飲ませる仕構であると。

豊間村長改選村會

鈴木藤次郎氏重任

豊間村長鈴木藤次郎氏任期滿了の處十一月二十四日村會召集し改選を執行せるに滿場一致鈴木前村長の再選を見た。

濱だより

小名濱魚市場調査

魚名	魚獲高	單價
平目	三五貫	二三〇―二六〇
ハモ	五〇	七〇―
タコ	三五〇	三〇―五〇
イワシ	五〇〇〇貫	一三〇―一五〇

◇天氣豫報◇

今晩　北西の風晴れ
明日　北西風晴れ時雨模樣
氣壓＝七百五十八粍三

現代清酒の眞味は冷酒
肴は乾物（四）

此輕便にて其の消費も容易になる

佐藤壽衛

吾人生え抜け日本人の嗜好の漸次之れに接近するに至れるは、他山の石以て玉を攻くべしの古語を如實に出現したものであるが夫れは古酒の木香を珍重した時代は昔の事、近年にては木香乏しく寧ろ皆無のものを賞翫するに徴して知るべきである。之れを以て木香なるもの、德川以來三百數十年の長年月に亘り如何に酒界を支配せしかを知ると共に嗜好の流行なるものの如何に有力なりしやを知るに足らん。

唯に木香量の多寡のみならず、冷蔵等の設備により酒味は漸次其の若き味を賞美し、老好味を嫌かの習慣を馴致せり、吾人現代の酒界情勢を以て判ずるときは寔に奇異の感無きこと能はず、此く約半世紀前迄は古酒尊重の趨勢に在りしも明治の中葉頃より漸次に小樽は硝子壜に代り大正の初め頃より圍桶は順次金屬タンクと變り、如此して酒と杉とは次第に緣遠くなり、一方又冷藏も流行し來り斯くして不知不識の間酒味は其清新にして若き味を尊び、寧ろ木香の少なきもの或は全然皆無のもの及味の老いざるものを賞美するの傾向となれり。如此は冷用を可としカンを否定す。

四、肴は普遍的に乾海苔

又は貯藏性のものを用ふることを知識階級文筆側より始むること

清酒の肴は昔からの傳統的習慣として來客には刺身、すの物、吸ひ物、燒魚其の他種々のものを提供するの慣例となり、如此せざれば何んとなく物寂しく又禮を失するかの如く認めらるゝが如きも、如此來客の姿を見て大急ぎにて調達せざる可らざるが如き繁雜なる手數を要する事は昔の閑雅なる悠長なる山靜而似太古の時代ならば兎に角、現代の如き繁多急忙のスピード時代には適合せざるが如し。之を以て肴類は從來の如く新鮮品にして貯藏性乏しき雜多のものを以てせずして耐久貯藏性又は手輕なる品例之乾海苔の如き海草類干魚、罐詰類、佃煮又は洋酒と共通にソーダビスケットの如き鹹味質のもの等を普遍的に何等氣後れもせずまた咎めもせず平然として使用するもの一般習慣を助長すべきなり。（續く）

諸橋外科醫院
電四六四
平町新川町
内臓外科
レントゲン科
皮黴科
諸橋鐵彌 醫學博士
奥義弘 醫學士

柄合の撰擇は
▲商品豐富な店
江尻吳服店
商號 西村屋
通稱 タイモン
小名濱町横町
電話二十四番

移轉御披露!!
特別大廉價販賣!!!
物價高騰の折なれ共
變動直前に入荷致せしものにて
在庫品豐富なれば何に品によらず
是非皆様の店として御引立下さいませ
シヨンウ正宗 醉雪 特約店
㋕ 大一屋食料雜貨店
小名濱中島大通り
電話一三二番

眼科一般
小名濱眼科醫院
小名濱町

齒科一般
口腔外科
木田齒科醫院
小名濱町電話一〇五番

大衆食堂
時代の生んだ
小名濱町中島通り
金時バー
電話十二番

技術流行型揃安價速に
御注文に應ずる
皇恩會
小松洋服店
平町才槌小路十二
小松正治

御挨拶
秋色濃く冷氣も身に滲み頭は益々澄んで御互、百年の計画等のシーズンとなりました。
弊店にても爾來内容の充實、良品廉價、期日の正確等に對し、一大改革を斷行し、皆様の工場、材木店としての忠實なる御奉公を拔でる覺悟で精進して居ります何卒倍舊の御引立御用命の程を懇願する次第であります。
木材製板
建築材料
建築請負
㋓ 秋山製材所
石城郡植田町　電話六十二番

磐城共濟病院
福島縣平町　電話六四一番
内科 院長 醫學博士 石山謙郎
小兒科 部長岩手 醫學士 佐藤尚輔 電話六四一番
外科 耳鼻咽喉科 部長 醫學士 大町久藏
産科 婦人科 部長 醫學士 黑澤廣
皮膚泌尿科 花柳病科 部長 醫學士 前澤正 電話二七二番
×線科 物療科 醫學博士 石山謙郎 技手 石山彪
藥局 藥局長 藥劑師 吉本孝平 事務長 鈴木寶雄
毎日午前八時ヨリ診療
夜間診療開始（毎夜午後十時迄）
病室完備・入院隨意

きゝめでうれる
りん病藥 妙淋丹
十日分三圓
販賣元 小名濱町中島本通り 電33番
シライシヤクホ

水産試驗場製罐詰
鰹鹽辛
鯛味噌
名所繪葉書
小名濱みやげ
小名濱町古港入口
文屋百貨店

口腔外科
齒科一般
池部齒科醫院
江名町